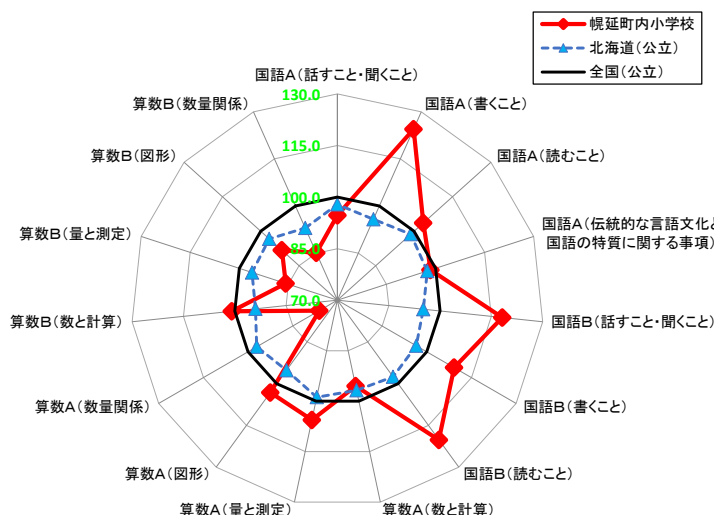


■幌延町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:2、児童数:16名)

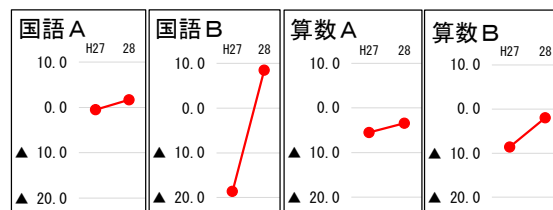
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

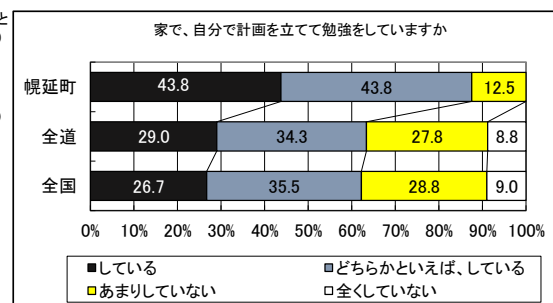


【平均正答率の全国との差の推移】

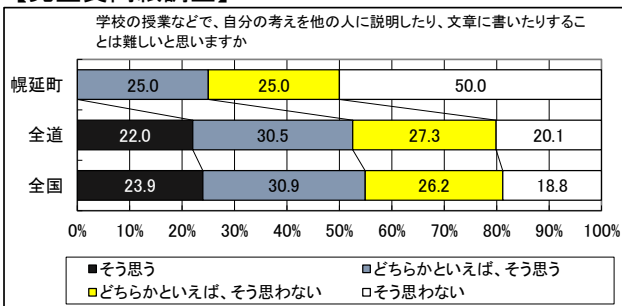


※「平均正答率－全国(公立)の平均正答率」の差の経年変化

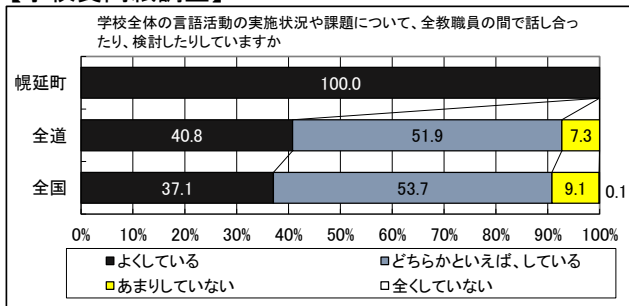
【児童質問紙調査】



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語Aでは「書くこと」、「読むこと」、国語Bではすべての領域で、全国を上回っている。 ○ 算数Aでは「量と測定」、「図形」、算数Bでは「数と計算」で、全国を上回っている。 ○ 平均正答率の全国との差の推移では、すべての教科で、前年度を上回っている。	○ 家庭学習の課題を提示し、家で、自分で計画を立てて勉強できるよう指導したことにより、国語Bのすべての領域、算数Bの「数と計算」で、全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	○ 「家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか」という質問に、「している」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか」という質問に、「そう思わない」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。	○ 言語活動の充実について、実施状況を検証し、教職員で共通理解を図って改善に取り組んだことにより、自分の考えを表現することを難しいと思わないと回答した児童の割合が増え、国語A「書くこと」、「読むこと」、国語Bのすべての領域で、全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 「学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり、検討したりしていますか」という質問に、すべての学校が「よくしている」と回答している。	○ 学校ごとに学力向上プランを策定し、全教職員が一体となって学力向上の取組を推進したことにより、全体として改善傾向が見られ、国語A・Bで全国を上回ったと考えられる。

【幌延町の学力向上策】

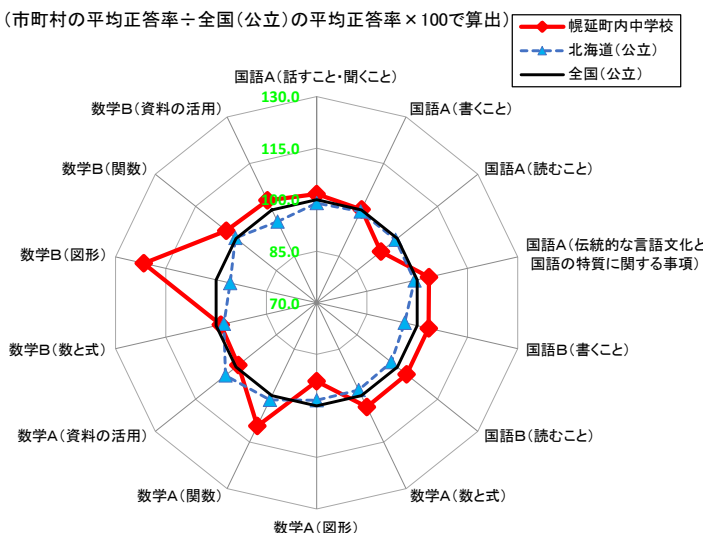
- ◎ 学力向上に向けたICT機器の整備
- ◎ 学校ごとの学力向上プランの作成
- ◎ 標準学力検査、知能検査、Q-Uの実施
- ◎ ティーム・ティーチングや習熟度別学習、個別学習など、指導体制の充実
- ◎ チャレンジテストや問題集を活用した基礎的・基本的な内容の確実な定着
- ◎ 幌延町教育研究大会の開催など、町内の学校が一体となった授業改善の取組推進

■幌延町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:2、生徒数:21名)

【教科全体の状況】

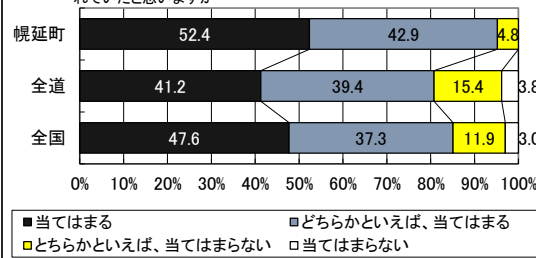
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

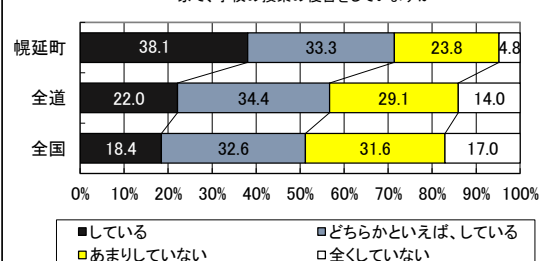


【生徒質問紙調査】

1、2年生のときに受けた授業の中で目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか

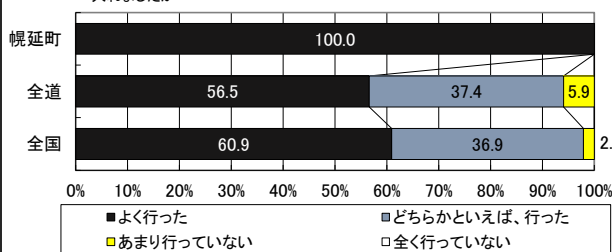


家で、学校の授業の復習をしていますか

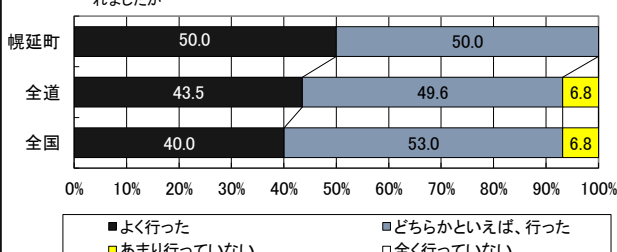


【学校質問紙調査】

前年度までに、授業の中で目標(めあて・ねらい)を示す活動を計画的に取り入れましたか



前年度までに、授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れましたか



【分析】

教科	○ 国語Aでは「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、国語Bでは「書くこと」、「読むこと」で、全国を上回っている。 ○ 数学Aでは「数と式」、「関数」、数学Bでは「図形」、「関数」、「資料の活用」で、全国を上回っている。	○ 授業の中で目標(めあて・ねらい)を示す取組を全教職員で共通理解を図って改善したことにより、生徒が見通しをもって学習に取り組む、教科に関する調査で国語Aの「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、国語Bの「書くこと」、「読むこと」、数学Aの「数と式」、「関数」、数学Bの「図形」、「関数」、「資料の活用」で全国を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	○ 「1・2年生のときに受けた授業の中で目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか」という質問に、「当てはまる」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「家で、学校の授業の復習をしていますか」という質問に、「している」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。	○ 授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れたことにより、家で、学校の授業の復習をしていると回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。 ○ 学校ごとに学力向上プランを策定し、全教職員が一体となって学力向上の取組を推進したことにより、落ち着いて学習に取り組むことができ、教科に関する調査で国語Aの「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、国語Bの「書くこと」、「読むこと」、数学Aの「数と式」、「関数」、数学Bの「図形」、「関数」、「資料の活用」で全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 「前年度までに、授業の中で目標(めあて・ねらい)を示す活動を計画的に取り入れましたか」という質問に、すべての学校が「よく行った」と回答している。	

【幌延町の学力向上策】

- ◎ 学力向上に向けたICT機器の整備
- ◎ 学校ごとの学力向上プランの作成
- ◎ 放課後学習など学習機会の確保と学習支援の充実
- ◎ チャレンジテストや問題集を活用した基礎的・基本的な内容の確実な定着
- ◎ 標準学力検査、知能検査、進路適性検査の実施
- ◎ 幌延町教育研究大会の開催など、町内の学校が一体となった授業改善の取組推進